

蕎麦の里 第8号

2021年3月

ご意見、ご要望は後援会事務所まで

〒399-3705 飯島町七久保 809-3

Fax 0265-86-2396 携帯 090-4250-7010

e-mail oriyama@cek.ne.jp

HP 検索 “飯島町議会議員 おりやま誠”

※おりやま誠の議会報告などをご覧ください



本誌はおりやま議員の2期目の活動報告をお届けするものですが、誤って部外配布された場合にはお詫び申し上げます、破棄くださいますようお願い申し上げます。発行責任者 後援会長 斉藤芳男

## 最近の町政 気になる話題

町長の進める「ワーケーション」事業は時期尚早？無駄遣い？

このところトレーラーハウ  
ス5台に8千万円も使い、コロ  
ナ対策をおろそかにして町は何  
をしているのか！そのような批  
判の声を良く聞くようになりま  
した。

町長2期目の主要施策だ。  
噂の一人歩きは、円滑な町政  
運営を阻害する心配があるため、  
後援会の皆様に緊急的に実情を  
報告するものです。一問一答で  
お伝えします。

問 今コロナ渦では、もっと強  
力にコロナ対策予算に重点を置  
くべきで、だれも出歩けないこ  
の時期のワーケーション事業は  
先送りすべきだったのでは？

町長 目の前のコロナ対策とし  
て、これまでに健康管理関係で  
2億2千万円・経済対策で4億  
4千万円・合計6億6千万円と  
いう巨費を投じて対策を講じて  
きた。

しかしながら、コロナ終息後  
を見据えた力強いまちづくりも  
同時に進める必要がある。この  
事業の財源とした国の第2次補  
正予算は、目の前のコロナ対  
策・そしてコロナ終息後の町の  
経済基盤強化の2面を求めた国  
の支援策だ。ワーケーション事  
業は、農業体験など町の自然景  
観や資源を生かして、仕事をし  
ながら田舎暮らしを満喫しても  
らう取り組みを通じて、都市部  
の飯島ファンを増やす試みの第  
一歩だ。

すでに企業からの引き合いも  
来ている。将来を見据えた投資  
はどうしても必要だ。

折山解説 飯島流ワーケーショ  
ン事業費の8千万円は、町長が

国に出向き、国の担当部署も興  
味を持ち、コロナ後の経済復興  
のモデル事業として、与党勉強  
会のテーブルにも乗った事業だ。  
その結果国の支援が受けられ  
ることとなった事業だ。トップ  
セールスの果実だ。

また交付される8千万円のうち  
75%は交付税措置による国  
の負担だ。この機を逃すと町民  
の血税による負担が大きくなり、  
未来への投資のチャンスを失う  
ことになる。

すでに、営農組合や農業者な  
ど、事業を支えるコーディネー  
ト機能も整備されつつあり、儲  
かる飯島・移住定住促進への門  
戸が開かれようとしている。

これまでの、町長布石の実績  
として現在顕著なのは、千人塚  
公園のセンターハウス整備があ  
げられる。このところ利用者が  
激増し、トイレ機能の拡張を迫  
られるほどの状況だ。その結果、  
旧紅葉園の民間営業、隣接する

高台には飲食店の出店も決定している。公園環境整備により、人が集まり事業が動き始める。まさしく下平構想の循環が始まった。

さて下平構想第2弾は何か。

「循環型ライフ構想」のトップは、お伝えした「ワーケーション」事業。次は、県企業局とタイアップした与田切川の水力発電事業。これは、水利権の協議などの具体的な検討が進んでいる。そして下伊那から当町までの森林資源を活用した「バイオマス発電」だ。これは、大手の企業が参入に向けて、調査研究に着手している。ここに生じる膨大な廃熱を利用した温室農業による地域興しの研究も同時進行している。

もしかすると町に新たな入浴施設ができるかも

木質バイオマス発電からは有り余る熱エネルギーが生じる結果、もしかすると当町に新たな入浴施設の建設も視野に入ってくる。

町の自然がお金を生み出すのだ

これまで私たちは、町の自然を眺めたり、楽しんだり、癒されたりしてきた。

今、この自然が、新たな産業を興し、就労の場を確保し、固定資産税や法人税の増収につなげ、今より豊かな10年後の飯島町の未来像が見え始めてきたのだ。

今その動きを止めてはならない。

千人塚の成果以降、それまで半信半疑だった議員も町政に対する期待へと変化し、関連予算を薄水ながらも議決してきた。

町長！目の前のコロナ対策はどうするの？

さて、目の前のコロナ対策を今議会一般質問で折山が町長に問いました。

折山 町長まだコロナ終息には時間がかかる。今こそ未曾有の災害時などの財源として蓄えてきた、町の貯金を全部取り崩しても目の前の苦境にあえぐ町民を支援すべきだが。第3弾の

「復興券発行」支援業種や産業の枠を拡大した「事業継続支援」取り組みも必要だが。

町長 今の町民を守るために、状況を見極めた支援策を連続して行う。そのためには、貯金の取り崩しもためらわない。一方で未来の福祉を充実させるためには財源も必要であり、そのための未来への投資もためらいなく行う。

### ひと休み

この2月19日 毎年そば道場のリングをねだりに来る渡り鳥（ツグミと思われる）飛来訪問してくれました。リングを出し忘れていて、大きな声で呼ばれてしまいます。

蕎麦を食べながら眺めていると癒されますよ。

皆様のご来店をお待ちしています。

店主





### 与田切川沿川にサイクリングロードが出現

下平町長就任以来、町が国土交通省と協議しながら進めてきた管理道を活用してのサイクリングロードです。

まだ一部ですが、与田切公園から坊主平までの有機的な路線が進んでいます。

コロナ渦だからこそ皆で助け合いましょ。

時には明るい夢を語り合いましょ。

この上流部には、発電施設が計画されています。町民に恩恵がある計画を進めてもらいましょ。

この上流部の豊富な森林資源は、木質バイオマスとして活用されます。搬出用の林道整備、

これまでの鬱蒼として暗かった山林の樹間から、木漏れ日が差し込む、明るい里山の出現など、私たちの自然のフィールドが広がる気配です。

七久保地域づくり委員会では、これまで与田切や千人塚周辺を家族や友人と散策し、蕎麦を食すなどの取り組みを行ってきました。

今はコロナの影響で様々なイベントが中止になっていますが、再開された折には、こんな素敵な環境の中で自然を満喫できるのです。

楽しみですね。

きっと与田切公園管理棟では、レンタサイクルなど観光客や町民を対象にした事業展開も始まるでしょう。

自然の活用、人の循環・事業企業の進出。

早く来い。明るい飯島町。

裏面あります





皆さんに朗報です。

今議会において、町長から中川村との連携が進み、町の水道水の中川村に購入してもらう道筋が見えてきたそうです。

そこで、新年度では水道料金の引き下げの検討が始まるそうです。

写真の正面のなだらかで穏やかな山容は越百山です。与田切公園では越百の水として多くの皆様に喜んでいただいています。

花崗岩に磨かれた伏流水は、中央アルプスに降った雨が、数十年という長い年月を経て、和食に合う軟水として与田切公園の地下50mまで運ばれています。

私たちの町も、これから長い年月をかけて、昨日より今日。今日より明日へ町民の皆様の総力を挙げて、助け合い支え合いながら築き上げて行きましょう。